

【会議結果】

会議名	令和5年度 第1回碧南市地域公共交通活性化協議会
日時	令和5年7月19日(水) 午後2時～3時30分
場所	碧南市役所 7階議員大会議室
出席者	碧南市地域公共交通活性化協議会委員16名(内代理出席 4名) 事務局4名、コンサルタント2名 (欠席:碧南市身体障害者福祉協会 鈴木委員、碧南商工会議所 長田委員)
傍聴者	2名

議事

1 会長あいさつ

○金沢会長(碧南副市長)

本日は暑い中お集まりいただきありがとうございます。

昨年度は地域特性と現状把握や各種アンケートを実施し、分析・課題整理に取り組んできた。今年度は新たに6名の委員を加え、パブリックコメント等を経て地域公共交通計画の策定を進めていきたい。

2 概要説明

○宮川委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

・協議会の概要について説明

3 議題

(1) 令和4年度収支決算について

○事務局

・資料1について説明

○小田委員(碧南市民生委員児童委員協議会代表)

・監査結果について報告

質疑応答

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

報償費が予算の3分の1になっている理由はなにか。

○事務局

会議の開催回数が当初より減少したこと、代理出席にはお出ししていないことが理由である。

○金沢会長(碧南副市長)

議題(1)について賛成の方は挙手を願う。

(全員挙手)

○金沢会長(碧南副市長)

挙手全員ということで承認された。

(2) 令和5年度当初予算(案)について

○事務局

・資料2について説明

質疑応答

○小田委員(席何市民生委員児童委員協議会代表)

委託料が半額になっているがやることが少ないのか。

○事務局

昨年度は課題の設定などを行った。

今年度は昨年度と内容的に違いがあるので、金額が違っている。

○小田委員(席何市民生委員児童委員協議会代表)

協議会の間が空いてしまうので、簡潔にまとめた資料などは出てこないか。

○事務局

時間が空いてしまうのはご意見をまとめる時間を頂きたいためである。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

国からの補助金は今年も出るのか、またどのような条件で出るのか。

○事務局

補助金について申請をしたものの、対象とならなかったため予算に組み込んでいない。

○宮川委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

国としても計画策定に対する補助金の総額の枠があることはご承知いただきたい。

補助対象となるのは初めて計画を策定するところが多くなり、策定が2年目にかかったところについては、総額の中で補助対象外となっている。

○金沢会長(碧南副市長)

議題(2)について賛成の方は挙手を願う。

(全員挙手)

○金沢会長(碧南副市長)

挙手全員ということで承認された。

(3) 碧南市地域公共交通計画について

○事務局

・資料3について説明

質疑応答

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

タクシー運行の活性化の項目を入れていただき、ありがとうございます。運行事業者にも情報を流して対応していきたい。

62 ページ（2）目標指標にタクシー関連の指標が入っていないので、利用回数などの数値を入れていただきたい。運行回数であれば事業者からデータを渡せる。

○事務局

以前、ヒアリングをする中で実績を出しづらい事業者もあったため、もう一度確認していく。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

東浦町等では大興タクシーが3社を取りまとめて自治体に提出した例もある。

タクシーも公共交通という位置づけで地域公共交通計画に入れていかなければいけないという話協会内でも出ているので、積極的に協力する。

○事務局

再度調整していく。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

ふれんどバスは利用者数が多いが、知名度が低いのはどういうことか。

○事務局

くるくるバスは市内をくまなく走っているため、認知度が高い。

ふれんどバスは高校生が利用者の主体となり数はとても多いが、運行地域が西尾市から碧南市南部となっているため、北部の方で認知度が低くなっている。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

シルバーカードのために市内の高齢者を訪問するが、免許返納を考えている高齢者は少なく、碧南市は車が手放しづらい地域だと思う。そのため、車を手放しても良いというアピールが難しいと思う。

くるくるバスがある程度不便な面があるため、なかなか乗っていただけないのだと思うので、数値的なものがなかなか増えることはないのではないか。

○事務局

碧南市は7割以上の方が自分の自家用車で移動している。

公共交通は自家用車に比べて利便性に見劣りするの確かである。

将来的には免許返納を促進していかなければならないが、今は公共交通を維持していくことは重要であるため、活性化を図りつつ維持していく取り組みを進める。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

名鉄のハイキング企画と市役所はタイアップしているか。

○事務局

年数回タイアップしている。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

もっと増やした方がいい。

○事務局

今後、利用促進のためにも調整していく。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

前は参加者数がとても多かった。

参加者が多ければ、名鉄も碧南市も知名度が上がるのでもっと増やしたい。

○天野委員（レスクル美浜営業所課長）

63 ページ5) の①くるくるバスの利用環境の改善について、商業施設付近でも上り下りで離れているバス停があり、商業施設の近くに上り下り共に設置した方が良い。荷物を持った高齢者には負担であるため、商業施設の近くにバス停を設置して利便性を高めることはとても大事だと思う。今後、再編等の際にはその点に留意し工夫していくと良い。

○鳥居委員（市民公募）

5) の①くるくるバスの利用環境の改善に商業施設に乗り入れる項目があるが、具体的にはどこか。

○事務局

今後協議・調整を進めていくもので具体的に決まっていないが、バスの乗り入れることができる駐車場を有している大型の商業施設と協議・調整を進めていきたい。

○鳥居委員（市民公募）

くるくるバス車両の降車ボタンの位置が高いため、届かないことがある。

ボタンの位置を変えていただくことは大変お金がかかることか。

○事務局

バス車両の状況を確認し、できる範囲で検討していきたい。

○大野委員（名鉄バス株式会社 運輸本部主席交通企画官）

65 ページ⑧でふれんどバスについて書き込んでいただき大変ありがたい。

市内高校での定期券販売は年度初めのみであるため、表記を改めていただきたい。

また、62 ページの目標値は西尾市ではコロナ前の9割となっているので、両自治体間で調整していただきたい。

○事務局

西尾市とともにふれんどバスを支えていきたいと考えているため、再度調整をして数値を修正していく。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

58 ページの基本目標は1つずつ集中して進めていく方がいいと思う。

3つ一緒に進めるのには不安がある。

○事務局

1度にできることは限られているものの、目指すものが3つ違うため、それぞれ少しずつでも手を付けて多面的に実施していきたい。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

重点的につぶしていく手もあると思う。

皆さんの意見を聞いて進めていきたいので、皆さんの意見をもっと述べてほしい。

○宮川委員（中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官）

計画実施のスケジュールが末尾についてくると思うが、この計画は碧南市の公共交通に対する基本的な考え方が記載されたものとなる。

年度初めか年度末のどちらかになるかと思うが、年度スケジュールを協議会に諮り、年度計画を立てていくという認識で良いか。

○事務局

その認識で問題ない。

○宮川委員（中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官）

公共交通は高齢者の利用促進も大事だが、これから公共交通を使いながら働いていく若い方に対しても役割は非常に大きいと思う。

車を持たない学生は公共交通がなければ市内外の移動ができないので、利用促進等をお願いしたい。将来免許を取得し自家用車を持ったとしても公共交通を使うかは、学生時代に公共交通を使っていたかが重要になってくると思うので、そのような観点でも具体的な計画を策定して進めていただきたい。

基本目標2では関係者が連携するという項目があるが、この中で色々な方の意見を聞きながら協力して進めていっていただきたい。

○大野委員（名鉄バス株式会社 運輸本部主席交通企画官）

碧南市と西尾市の目標値が違うのは問題なく、違っていても良いと思うが、西尾市では年度ごとに根拠となる数値計画があり、それに基づくと西尾市の動きが分かるが、碧南市は令和元年と同等の数値となっていて、この目標値を定めた計画施策や根拠を示した方が良い。

○夫馬委員（名古屋鉄道株式会社 交通サービス担当主務）

中京圏は公共交通分担率が低い地域であるため、わたくし共では「Cent X」という地域アプリを開発して、運用を開始している。

バスの時刻が分からない、どのルートで行けばいいか分からないなど、場所から検索できるシステムとなっているため、参考にしていきたい。

名鉄では275 駅有しているため、ハイキングはまんべんなく実施していることをご承知おきいただきたい。

○小林委員（(公社)愛知県バス協会専務理事）

63 ページ①くるくるバスの利用環境の改善について、くるくるバスは無料で運行しているバスであり、利便性を上げるためには費用がかかると思うが、有料化の検討はこの中に入っているのか。

無料バスの利便性を高めた結果、民間の事業者が撤退した例もあるため、バランスを取っていただきたい。

○事務局

事務局として現段階ではくるくるバスを有料化することは考えていない。

60 ページで設定しているようなそれぞれの公共交通の役割に応じた利便性の向上を図ってきたい。

○伊藤委員（碧南市老人クラブ連合会 信和会会長）

くるくるバスを利用したいけど、どこで待っていいかわからない高齢者が多い。

そうしたことを知らせてくれるような取り組みを考えてほしい。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

今のご意見に対しての参考事例として、東浦町で「公共交通ガイドマップ」のような冊子を作成し、全戸に配布されている。

碧南市でいえば、くるくるバスだけでなくタクシーの乗り場も入れたものを作られた事例もありますので、公共交通事業の一環として検討していただきたい。

○伊藤委員（碧南市老人クラブ連合会 信和会会長）

高齢者にもわかるようにしてほしい。

○鳥居委員（市民公募）

くるくるバスの本数が少ないというアンケートの意見があったし、自分もそう思う。

運行本数を増やすような考えは持っていないか。

○事務局

現段階で大きく運行スケジュールを変えることを考えていないなかで、順序立てて利便性の向上をはかっていきたい。

○鳥居委員（市民公募）

どこに行きたいということをバスの運転手さんに尋ねることは可能か。

○天野委員（レスクル美浜営業所課長）

行きたい場所を言っただけであれば、降りるバス停を教えることは今でもやっているかと思うので、遠慮なく質問していただきたい。

それができていないようであれば、乗務員の指導をもう少しやっていきたい。

○鳥居委員（市民公募）

運転手に話しかけてもいいか。

○天野委員（レスクル美浜営業所課長）

運転に集中することが第一だが、コミュニティを大事にするということから、お客様と会話をしようとしている。

○鳥居委員（市民公募）

ありがとうございます。

○天野委員（レスクル美浜営業所課長）

64 ページの⑥に「乗り方教室」の記載があるので、老人クラブなどの単位で開催されると思う。当社も南知多町で車両を持って実施している事例がある。

また、高校生の通学を増やすためにも小学生を対象とした乗り方教室を実施していき、幼い頃から公共交通に興味を持ってもらい、公共交通を使うことを覚えてもらうと利用者の増加に繋がると思うので検討していただきたい。

○宮川委員（中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官）

バス運転士に対する質問について、運転士はバス停やルートは詳しいかもしれないが、バス停周辺の施設には詳しくない場合がある。

そのため、バスマップ等を作成し、バス運転士にも配布することを検討してはどうか。

○岩崎委員（四日市大学学長）

目標指標のどこに入れるのかは別だが、毎年どのくらいのコストをかけて運行しているのかを市民に明確に知っていただくことは重要だと思う。

知ってもらうためには利用してもらわなくてならず、その重要性にきづいてもらいたい。

住民の方がたくさん乗ることを考えると、バス停でどう待つのか、バスが安全に止まれるのかなど、調整を重ねながら改善を進めていくことが必要である。

それだけお金はかかるが、それだけかけて皆さんの外出を促進させていることになる。

電車に乗ってどこかへ行く、病院は行かなければいけない、今日はここに買い物に行きたいなど、外出を支援することはとても重要であるため、老人クラブでの乗り方教室はとても重要。スマートフォンで色々と検索できるため、若い人は時刻表を見ていないが、お年寄りの方に対しての紙ベースの情報案内は絶対必要だと思う。

これからはやはり、免許返納は考えなければならない問題だと思う。

免許返納後の外出支援としてラストワンマイルが重要で、63 ページ5) ④地域内交流交通を補完する交通手段の検討として、小地域をまわるランドカーや自動運転、隣人支援などがあるが、地域性に応じて補完手段を考えていかなければならない。

地域の特性に応じて、高齢者の移動手段確保のための協議会が必要だと思う。

65 ページ5) ⑧ふれんどバスの維持・活性化に記載されている主体では協議が必要だと思う。

高校生に使ってもらおうと思うと、中学2・3年生の進路相談の三者面談でバスと高校の案内をしている例もあり、需要の喚起が必要である。

ふれんどバスについては、利用者である高校生には意見を聞く必要があると思う。

必ず上昇していくコストについて、市民の皆さんにお知らせする必要があると思う。

○金沢会長(碧南副市長)

皆様からたくさんいただいたご意見について、計画にどのように反映させるかについては、事務局の方で検討いただきたい。

(4) 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

○事務局

・資料4について説明

4 その他

○宮川委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

公共交通計画策定完成までの今後のスケジュールは、次回の協議会で今回の意見を反映させた公共交通計画の最終案を策定し、パブリックコメント等の後、年度末頃に公共交通会議をひらいて完成という認識でよいか。

○事務局

次回11月の協議会でパブリックコメント前のものを確認いただき、12月に議会に報告。

その後1月にパブリックコメントを実施し、今年度中に公表というスケジュールで考えている。パブリックコメントの内容によるが、必要に応じて3月にも第3回の本協議会を予定している。

・次回開催予定 令和5年11月6日(月) 14:00～